

神経研究の進歩 第21巻 総目次

1977年（第1号—第6号）

〔特集 小脳萎縮症〕

1. 脊髄小脳変性症の分類とその
主要症状……………中村 晴臣… 5(1)
2. 脊髄小脳変性症の遺伝序説—
本態性疾患の遺伝をどう
整理するか……………近藤喜代太郎…14(1)
3. 脊髄小脳変性症の病理
飯塚 礼二・堀 映・平山 恵造…22(1)
4. 小脳変性症における錐体外路
障害—オリブ・橋・小
脳萎縮症を中心に—
平山 恵造・斎藤 光典・千田 富義
飯塚 礼二・室伏 君士……………37(1)
5. 小脳萎縮性病変の放射線学的
検索—皮質病変のレ線学
的評価を中心として—
……………久留 裕・近藤 智善…55(1)
6. 脊髄小脳変性症の Kinesiology
と Physical Therapy ……中村 隆一…70(1)
7. 錐体外路運動系に対して小脳
病変のもつ臨床生理学的
意義……………榎林博太郎…86(1)
8. 中毒性・外因性小脳萎縮症の
各種（水銀を除く，人を
中心に）……………加藤 雄司…91(1)
9. 最近注目される特異な小脳萎
縮性疾患のトピックス
a. Ataxia-telangiectasia —病
因に関する一試論—
……………堀川 楊・椿 忠雄… 103(1)
- b. Dyssynergia Cerebellaris
Myoclonica をめぐる諸
問題……………高橋 昭… 112(1)
- c. Cerebrotendinous
Xanthomatosis
山下 順章・村上 俊一・黒岩義五郎… 123(1)
- d. 小脳皮質変性を伴う Creutz-
feldt-Jakob 病—高度の大

小脳萎縮を示す Creutzfeldt-
Jakob 病の一亜型について—

- ……………水谷 俊雄… 135(1)
- e. 成人型 (Kufs 型) Neuron-
al Lipidosis ……高橋 和郎… 144(1)
- f. 小脳の奇形…室伏 君士・小笠原嘉祐… 149(1)

〔特集 筋萎縮性側索硬化症—その基礎 と臨床—〕

- 序 論……………椿 忠雄… 201(2)
- 脊髄運動ニューロンの発生……………金光 晟… 204(2)
- 脊髄運動ニューロンの形態……………小島 徳造… 218(2)
- 脊髄運動ニューロンの分化と死…久野 宗… 233(2)
- 脊髄運動神経の Trophic Substance
……………黒見 坦・長谷川修司… 240(2)
- 単一運動ニューロンの生化学的分
析……………加藤 尚彦… 250(2)
- 脊髄運動ニューロンに作用する伝
達物質……………大塚 正徳… 262(2)
- 脊髄運動ニューロンの中枢性支配
……………田中 颯作… 269(2)
- 筋萎縮性側索硬化症の概念の変遷
……………進藤 政臣・塚越 廣… 281(2)
- 筋萎縮性側索硬化症の病因：肝微
細構造の電顕的研究—
Preliminary Report—
平山 恵造・荒木 弘毅・黒田 博之
浪久 利彦…………… 293(2)
- 紀伊半島と Guam 島における筋
萎縮性側索硬化症の副次所見
を中心とする神経病理学—早
発性病的老化現象例と Mul-
tisystemic Degenerations に
合併する運動性ニューロン変
性症と関連して—……………白木 博次… 304(2)
- 脊髄運動ニューロンの病変に関す
る最近の知見……………高橋 和郎… 319(2)
- 紀伊半島および Guam における
筋萎縮性側索硬化症……………八瀬 善郎… 329(2)

筋萎縮性側索硬化症—とくに臨床統計を中心に—	
長野 泰甫・近藤喜代太郎・椿 忠雄…	340(2)
筋萎縮性側索硬化症の疫学と遺伝—内因と外因の絡みあい—	
……………近藤喜代太郎…	348(2)
筋萎縮性側索硬化症患者の療養問題	
…豊倉 康夫・萬年 徹・矢吹 とし…	360(2)

〔特集 神経病理〕

会長挨拶……………生田 房弘…	405(3)
先天性高アンモニア血症 (Ornithine Transcarbamylase 欠損) の姉妹例	
打越 敏之・西村 宏・石河 利隆 永山恵美子・小口 迪彦・森 正敬 松下 正明……………	407(3)
新しい Early Infantile Neurovisceral Lipidosis with Failure of Myelination	
長嶋 和郎・相川 睦子・阿部 敏明…	426(3)
Parkinsonism の Tyrosine Hydroxylase (TH), DOPA decarboxylase (DDC) 脳内活性分布と病理	
永津 俊治・加藤 武・佐野 昌雄 永津 郁子・楳林博太郎・飯塚 礼二 堀 映……………	441(3)
脳幹網様体・視床・淡蒼球・黒質・歯状核に主病変を有する Multiple System Degeneration の 1 例—とくに、神経生理・神経病理学的考察と特異なエオジン好性小体について—	
小阪 憲司・小柳 新策・篠田 毅 富田 隆雄・松下 正明・堀 映 堀田 直樹・石井 毅・岩瀬 正次…	447(3)
オリブ橋小脳萎縮症と線条体黒質変性症の臨床病理学的研究	
平山 恵造・斎藤 光典・千田 富義 飯塚 礼二・室伏 君士・福田 芳郎…	461(3)
超微免疫酵素抗体法による老人斑、ことにアミロイド細線維における免疫グロブリン蛋白	

の証明	
石井 毅・羽賀 誠一・村山 浩子…	476(3)
筋萎縮性側索硬化症の仙髄病変、とくに Onuf 核の所見について	
萬年 徹・岩田 誠・井上 聖啓 豊倉 康夫・長嶋 和郎……………	481(3)
Werdnig-Hoffmann 病の脊髄根内 “Glial Bundle” の病理学的検討	
大浜 栄作・小川 宏・生田 房弘…	489(3)
脊髄ニューロンを数える……………金光 晟…	496(3)
Schilder 病の 1 同胞例 (Adrenoleukodystrophy)	
浜家 一雄・柳田 公佑・駒沢 勝…	505(3)
単純ヘルペスウイルス 1 型脳炎の免疫病理的研究	
熊西 敏郎・竹下 岩男・古賀 誠 生田 房弘・椿 忠雄……………	512(3)
ウイルスを分離し得た単純ヘルペスウイルス 1 型脳炎の 1 剖検例	
三宅 祥三・桐生 恭好・安楽岡 滋 鈴木 修・荒井 正夫・佐藤 靖夫 里吉啓二郎・倉田 毅・青山 友三…	519(3)
Pincoblastoma の 1 剖検例—組織学的および酵素学的検討—	
山崎 一徳・生田 房弘・小宅 洋 熊西 敏郎・新井 弘之・佐藤 宏 植木 幸明……………	526(3)
“進行性核上性麻痺” を呈した稀有なる慢性脳炎の 1 剖検例	
長嶋 淑子・山田 克浩・宇尾野公義 長嶋 和郎・松山 春郎……………	538(3)
第17回日本神経病理学会学術研究会一般演題抄録・討論……………	549(3)

〔特集 脳のシンポジウム〕

開会の辞……………伴 忠康…	653(4)
挨拶……………小川 鼎三…	654(4)
I. 痛覚の基礎と臨床	
痛覚の解剖学(Ⅱ)—視床と中心溝周囲ならびに前頭・頭頂弁蓋皮質を中心として—	
草間 敏夫・藤井 正子・藤岡 正勝…	656(4)
痛覚の Specific Theory と	

General Theory のうつり	
かわり……………熊沢 孝朗…	669(4)
鎮痛薬の中樞性機序—脳幹と脊	
髄後角への作用を中心とし	
て……………高木 博司…	681(4)
臨床からみた“いたみ”の問題	
点……………祖父江逸郎…	691(4)
Ⅱ. 精神機能と伝達物質	
脳の伝達物質の概観……………山本長三郎…	698(4)
Huntington's Chorea と神経伝	
達物質……………金澤 一郎…	705(4)
躁うつ病と伝達物質……………飯屋 哲彦…	714(4)
精神分裂病と伝達物質	
—Dopamine 仮説	
を中心に……………加藤 伸勝…	724(4)
Ⅲ. 運動制御の基礎と臨床	
脳血管障害と錐体路障害……………亀山 正邦…	733(4)
脳運動関連電位の基礎的および	
臨床的研究—V. 正常知見	
の総括と各種運動障害例に	
おける検討……………柴崎 浩…	743(4)
運動制御のサーボ機構……………飯田 光男…	753(4)
大脳運動野ニューロン活動と髄	
意運動の関連の仕方につい	
て……………丹治 順…	762(4)
大脳皮質運動野錐体路ニューロ	
ンの脊髄内分枝……………篠田 義一…	769(4)
大脳基底核……………吉田 充男…	777(4)
下オリブ核と小脳……………川口 三郎…	784(4)
閉会の辞……………伴 忠康…	791(4)

〔特集 失語・失行・失認〕

失語・失行・失認とその学説……………大橋 博司…	861(5)
失語の分類とその実際—古典的分	
類と Geschwind 派の分類—	
……………山鳥 重…	869(5)
近年における失行・失認の分類	
—古典論との関連……………浜中 淑彦…	879(5)
日本語の失語の特色	
野上 芳美・岩田 玲子・浅川 和夫…	899(5)
言語学は失語症にどう寄与しうる	
か……………笹沼 澄子・藤村 靖…	908(5)
脳梁損傷による Disconnexion	
Syndromes (離断症候群)	
—日本語の半側失読と一側性	
失書を中心に……………杉下 守弘…	918(5)

純粹失読症候群の神経心理学的側	
面……………岩田 誠…	930(5)
歩行失行……………水野 美邦・小俣 純子…	941(5)
日本における失語症剖検例……………平野 正治…	957(5)
失行および失認の病巣—日本にお	
ける剖検例を中心に……………鳥居 方策…	973(5)
失語症の神経生理学的研究……………永江 和久…	990(5)
失語症検査について(最近開発さ	
れた標準失語症検査の概要を	
中心に)……………竹田 契一…	1002(5)
失語症の言語治療……………笹沼 澄子…	1016(5)
猿, 類人猿における失読, 失行,	
失語の研究	
岩井 榮一・城戸サヨ子・大沢 康隆…	1029(5)

〔特集 大脳連合野〕

連合野の成り立ち……………平田 幸男…	1071(6)
“連合野”の線維結合(Ⅰ)皮質間	
結合—サルとネコの皮質間結	
合の比較と“連合野”の発達	
についての試論……………川村 光毅…	1085(6)
連合野の線維結合(Ⅱ)皮質下結合	
—視覚連合野を中心に……………川村 祥介…	1102(6)
後連合野の機能	
岩井 榮一・佐藤 孝行・山口 清子	
河村 健……………	1116(6)
大脳連合野の運動機能……………柳沢 信夫…	1131(6)
前頭前野の統御機能……………酒井 正樹…	1144(6)
頭頂連合野の情報処理	
酒田 英夫・澁谷 英敏・河野 憲二…	1155(6)
側頭連合野の情報処理—下側頭回	
の機能と最近の電気生理学的	
研究……………三上 章允…	1168(6)
連合野の焦点性てんかん……………真柳 佳昭…	1182(6)
連合野の発達障害	
有馬 正高・北原 佑・高田 邦安…	1193(6)
連合野の誘発電位……………渡辺 悟…	1200(6)
「前頭葉, 行動と進化」序論……………久保田 競…	1212(6)
ヒトの嗅覚系, 情動脳, 自律系の	
非対称性について……………角田 忠信…	1217(6)

〔原 著〕

Schmidt-Ruppin 株 Rous 肉腫ウ	
イルスによるハムスター脳腫	
瘍の実験病理学的研究……………中里 洋一…	165(1)
全身の多発性奇形(Ullrich-Feich-	

tiger Syndrom) に伴う多彩
な中枢神経系の組織発生異常
を示す新生児の1剖検例—こ
とに小脳ヘテロトピー, 脳実
質-間葉系ジスゲネジーにつ
いて—

堀 映・松下 正明・小阪 憲司
室伏 君士・飯塚 礼二・杉本 青永
井上 照信・森 律…………… 179(1)

前頭・頭頂弁蓋皮質より視床への
投射について……………藤岡 正勝… 365(2)
各種抗癌剤投与を受けた白血病例
の中枢神経にみられた石灰化
を伴う散在性壊死性白質病巣
について

飯沼 一字・林 正・生田 房弘… 386(2)
1-naphthyl-N-methylcarbamate
(Sevin®) の神経毒性に関す
る研究—生化学的研究を中心
として—

新島 健司・安田 是和・福島 雅司
宮田 幹夫・石川 哲…………… 626(3)
頭蓋底, 後頭蓋窩および全脊髄蜘蛛
膜下腔への広範な播種性
転移を示した第Ⅲ脳室後部
Malignant Teratoma の1剖
検例

埜本 勝司・朝田 雅博・玉木 紀彦
松本 悟・岡田 聡…………… 636(3)

Neuro-Behçet 病の1剖検例につ
いてのウイルス学的検索

小阪 英幸・熊西 敏郎・生田 房弘… 792(4)

クロジン症の中枢神経系病変

小林 楨雄・中村 俊彦・赤井契一郎
崎山 武志・大和田 操…………… 799(4)

パーキンソン病に対する L-ドー
バおよび Benzerazide (Ro
4-4602) の併用効果—二重盲

検法による L-ドーバ単独療
法と併用療法の比較—

水野 美邦・宇尾野公美・中西 孝雄
平山 恵造・伊藤 斉・楢林博太郎… 807(4)

意識障害に対する CDP-choline

髄腔内投与について

佐野 圭司・間中 信也・喜多村孝一
加川 瑞夫・竹内 一夫・小柏 元英
中村 紀夫・石井 昌三・平井 秀幸
橘 直矢…………… 835(4)

呼吸リズム形成と迷走神経反射の

神経回路網モデル

黒川 隆夫・為谷 素也…………… 1040(5)

軽症意識障害の評価方法に関する

統計的研究

佐野 圭司・間中 信也・喜多村孝一
加川 瑞夫・竹内 一夫・小柏 元英
亀山 正邦・東儀 英夫・山田 久… 1052(5)

〔書 評〕

Peter M. Daniel & Marjorie L.

Prichard 著「Studies of the
Hypothalamus and the Pi-
tuitary Gland」……………新井 康允… 188(1)

時実利彦編「脳と神経系」……………楢林博太郎… 394(2)

Reinhard L. Friede 著「Devel-
opmental Neuropathy」……………吉倉 範光… 395(2)

W. J. Friedlander 編「Current
Reviews」……………濱口 勝彦… 396(2)

P. Glees and M. Hasan 著「Lipo-
fuscin in Neuronal Aging
and Diseases」……………篠原 恒樹… 644(3)

Mark Mumenthaler 著・Edmund
H. Burrows 訳「Neurology」
……………平山 恵造… 850(4)

S.W. Kuffler & J.G. Nicholls 著
「From Neuron to Brain」…勝木 保次… 1229(6)